

木木のたからもの

綾の森がにぎわう季節です。新緑がまぶしい5月、そして6月は恵みの雨が多く、動植物の命を育みます。

私たちが住む綾町には、日本で最大級の照葉樹林が残っています。これまでに、綾ユネスコエコパーク内(綾町全域を含む)では数多くの生きものが確認されており、中でも植物は、森の中だけで1000

種を超えます。

例えばトングリをつける常緑樹のカシ類では、1種類を除いて九州以北に分布するすべてのカシを綾の森で見ることができます。また、キノコの仲間は300種類近くも確認されており、たいへん珍しい種も発見されています。

森の中では、ひっそりと咲く美しい花々を見つけ

ることもできます。淡い緑白色のナゴラン、真っ赤なヤツツバキ、赤紫色のツクシアケボノツツジなど色とりどりの花が森を彩ります。

動物では、国の天然記念物に指定されているニホンカモシカやヤマメのほか、県の希少野生動植物に指定され、捕獲が禁止されている両生類のベッコウサンショウウオが生息しています。

私たちの身近にある森は、こんなにも豊かに数多くの生きものを守り、育んでいるのです。春から初夏にかけて、樹木の花をはじめ地面に咲く花、岩肌や木に着生して咲く草花などが山に彩りを加えます。さあ、皆さんも、綾の森に出かけてみませんか。



ニホンカモシカ

日本固有種で国の天然記念物になっている。宮崎県が南限。草食で木の実や樹皮などを食べる。



サダマイマイ

県の固有種。綾町や宮崎市など県内の数箇所でのみ生息している希少な陸棲貝類。



トゲアリ

鮮やかな赤褐色の胸部と背面にある8本の鋭いトゲが特徴。シイなどの根元近くのうろなどを巣にする。



ベッコウサンショウウオ

日本固有種で九州の森林山地の渓流などに生息する。乱獲などで数が減っている。

綾の森にすむ生きものたち



キリノミタケ

成長すると星形に開く。本県と米・テキサス州でのみ発見されているとても珍しいキノコ。



ヤマブシタケ

食用キノコ的一种。老人のおひげのような真っ白い針が垂れ下がるおもしろい形。



ナゴラン

照葉樹林着生蘭の代表的な種。県内でもほとんどの生育地が消失している。



タカクマソウ

光合成を行わない腐生植物で、森の落葉の間から生える。南九州から沖縄に分布する絶滅危惧種。



ツクシアケボノツツジ

四国から九州にかけて分布する日本の固有種。春に赤紫色の花が咲き誇る。



ヒュウガアジサイ

県の固有種。沢沿いに育つ、きれいなガク(花に見える部分)と光沢のある葉が特徴。

ユネスコエコパーク通信



宮崎国際大・学生ボランティアが 多言語化に協力

今年1～2月にかけて、宮崎国際大学の学生ボランティア2人が、綾川荘や綾てるはの森の宿、綾城・綾国際クラフトの城における表示などの英語化作業に取り組みました。

現在、綾町では大型クルーズ船の油津港来港によるツアー客やユネスコエコパークの視察・調査研究に訪れる国際機関などの職員の来町が増えており、看板や表示などの多言語化の整備が急がれています。2020年の東京オリンピック開催など、今後、来町する外国人観光客がますます増えることが見込まれるため、協働で対応できる環境づくりに取り組んだものです。

学生ボランティアはまず、各施設を訪れ、施設職員らと必要な表示や案内について話し合いを行い、英訳作業に取りかかりました。英訳の確認は、ユネスコエコパーク推進室と同大学の外国語教員が行

いました。

綾城では最近、習慣の違いでトイレの使い方が分からない外国人観光客が増えている状況が見られるため、注意事項を英語で表記した案内表示を作成。また、入場料や開館時間、綾城内の展示品の名称や説明についても、一つ一つ確認しながら英訳を進めました。

綾川荘と綾てるはの森の宿では、宿泊案内やレストランのメニューの英語化を進めたほか、食事中に必要な食器や調味料を簡単に尋ねられるよう、手差しフリップなどを作成しました。

完成した英訳データは、各施設が必要に応じて活用できるように、町長と各施設の支配人に手渡されました。

■問い合わせ先／

ユネスコエコパーク推進室
☎ 77・3482

コラム テナガエビ

川遊びをよくしている人にはおなじみの手の長いエビ。ダクマとも呼ばれます。

肉食で、水中の動物や魚の死骸などを食べる川の掃除屋です。実はこのエビ、小さいころに海に下り、海水が混じる場所で成長して再び川をさかのぼって戻ってくるといって生活しています。それで、海とつながりのある川がないと生きていきません。

から揚げなどにするとたいへんおいしく、食用にされることが多い本種。本庄川から大淀川へ日向灘にわたって長旅をしてくる、その命の恵みをかみ締めて、今後とも長く付き合っていきたい綾の大切な生き物です。

